

# 競技上の注意事項とお願い

1. 本記録会は、2021年度(財)日本陸上競技連盟競技規則および、本大会の開催要項によって運営する。
2. 本記録会は、(財)日本陸上競技連盟広告規程を適用する。
3. 招集所(競技者係)は、第2ゲートに設ける。  
招集の時刻は以下のとおりとするので、厳守のこと。  
トラック競技 競技開始の30分前に開始し20分前に完了する。  
組ごとに招集時刻が異なるので、日程表に記載の時刻を厳守のこと。  
フィールド競技 競技開始の50分前に開始し40分前に完了する。  
フィールド競技は招集所で確認を受けたら、日程表記載の時刻までに現地集合のこと。
4. トラック競技で800m以上の種目は右腰に腰ピブスを着けること。招集時に競技者係より受取ること。
5. 跳躍競技のナンバーは胸・背のどちらかに着けるだけでもよい。  
ただし、走幅跳と三段跳はどちらかに着ける場合は、(ナンバーチェックのため)胸に着けること。
6. スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、その長さは9mm以下とする。  
ただし、走高跳及びやり投げは12mm以下とする。  
シューズ底の厚さはWA改訂規則を適用する。競技者係で検査を受けること。  
雨天練習場以外の建物内を通行する際は、必ずスパイクシューズを脱ぐこと。
7. トラック競技は、荷物運搬を行う。競技者係でビニール袋(70)の配布を受ける。(大会期間中使用する)  
競技者係で、ナンバーと氏名を記入する。スタート地点で衣類を入れ、所定の位置に置く。役員が運搬する。フィニッシュ地点で荷物を受け取り、退場する。
8. 競技用器具は主催者が用意したものをを使用することとする。ただし、個人所有の投てき用器具を使用したい場合は、競技開始1時間前までに係員の検査を受けること。検査は用器具庫1(第4ゲート付近)で行う。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。
9. 少年女子B100mHのハードルの高さ/ハードル間は、0.762m/8.50mとする。
10. バーの上げ方は次のとおりとする。  
走高跳 男子 1m50から2m00までは5cmきざみ、その後は3cmきざみ。  
女子 1m25から1m55までは5cmきざみ、その後は3cmきざみ。  
棒高跳 男子 2m80から4m00までは20cmきざみ、その後は10cmきざみ。  
女子 2m40から3m00までは20cmきざみ、その後は10cmきざみ。
11. 長さを競うフィールド競技は3回の試技とする。
12. 男子投てき種目の用器具の重さは、以下のとおりである。

	一般	高校	中学(少年B)
砲丸投	7.260kg	6.000kg	5.000kg
円盤投	2.000kg	1.750kg	
ハンマー投	7.260kg	6.000kg	
13. 大会開始前の場内での練習は8時~9時までとする。補助陸上競技場は8時~競技終了までとする。  
いずれも1・2レーン中は・長距離練習、3~5レーンはスタート練習、6~8レーンはハードル練習とする。練習時のハードル設置は全てスタートから3台目までとする。
14. 補助陸上競技場でのやり投の練習は不可とするが、助走練習は可とする。また、ちよるる広場でのハンマー投・円盤投の練習は役員の指示に従って行うこと。いずれも、安全には各自で十分注意して行うこと。
15. 競技中に発生した傷病については、本部で応急処置は行うが、その後については本人の責任において処置すること。
16. 競技者が走行不能(即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態)となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもっていても、審判長(または権限を委譲された審判員)から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。

17. **対コロナ感染症対策のための規定を順守すること。**

競技終了後は直ちに、第1ゲート外の階段よりコンコースに上り、手洗い・うがいをする事。

各競技会場に置いてある、消毒液を適時使用してもよい。

競技中（練習含む）以外は、競技場内においても必ずマスクを着用すること。

待機場所は、2階コンコースとし、3密は避けること。また、ウォームアップ室は待機場所としては使用できない。更衣室の使用も短時間とすること。

その他、別紙記載事項（別添1、2、3、4）を順守すること。

18. ・弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないこと。

・競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。

・競技場敷地内は全面“禁煙”です。正門付近での喫煙もご遠慮下さい。